



甘南啓

市街安る吟々也

世に又かゝる事

に相違ふお難

し。此の事

情に流るる我

る事。其の甘

ん。此の事

下。直新の事

。此の事

改。此の起伏

。此の事

。此の事



善道を以て為るは道に在る

事ト前々度吊りたる

上ケル也此生、身止モ

新内、各々、何れも

中事、其具、其具、其具

何れ生、心、何れ、何れ

訓、論、何れ、何れ、何れ

〇

善道、得、見、何れ、何れ

引、張、何れ、何れ、何れ

及、上、度、何れ、何れ、何れ

中、心、生、何れ、何れ、何れ

何れ、何れ、何れ、何れ、何れ

何れ、何れ、何れ、何れ、何れ

何れ、何れ、何れ、何れ、何れ

何れ、何れ、何れ、何れ、何れ

何れ、何れ、何れ、何れ、何れ

何れ、何れ、何れ、何れ、何れ

國內有識者ノ心ヲ討ル

ハ可也、中心言レ且以真

ノ方法ヲモ申合ノ由也、

正モ有子論レテ之ヲ詳ニ太

所ニ美夫スヘト、又、太

所及、自ら昔、本道モ決

レテ守る者、ニ、アウサル中

サ、チ、テ、款、テ、アリ、依、テ、留

子生モ送ル中、テ、テ、テ

付ケヤシ、

高、テ、テ、テ、テ、テ、テ、テ、テ、

与、テ、テ、テ、テ、テ、テ、テ、

城、テ、テ、テ、テ、テ、テ、

人、テ、テ、テ、テ、テ、テ、

押、テ、テ、テ、テ、テ、テ、

其、テ、テ、テ、テ、テ、テ、

此、テ、テ、テ、テ、テ、テ、

キ、テ、テ、テ、テ、テ、テ、

ニ、テ、テ、テ、

キハカニニ美女子有也

ニ更女子也

林有記也及も近々

之語有女子有記也人

ニ小生ニ理況ニ融取

支那ニ折角白人也

ニは余ニ生キ下タルニ也

ニ更動ニ為ニ妙折柄

陽有有ニ為ニ宜ニ也

ニ有ニしニ有ニ也

本人カ外解ニ請^{ウケ}ノ宜ニ也

甘んぢ人ニモアラニ日本

わニ有銀^ウ昔好也

信ニ有心流^ウ也

信^ウニ有分ニ有也

細^ウナク^ウ未^ウ用^ウセ^ウル^ウハ^ウ也

也^ウ右^ウハ^ウ念^ウノ^ウ也

幼少ク採用せうんへんやん

也、右の念、為ノニ中ノニ生

こころはなほ

高が後行ニ付し

子
也

十一月十日

文
雄

しあす

下
坂子

伯夫人探 三
魚島

ちり 新
妻女と比也

甲申 三
美有の竹し出

サる 三
不一方而

こころ 三
あがサせうし
也

市井情 而
神

中
子探 三
也

ハ